

安全データシート

作成: 2024年 2月29日

1. 製品及び会社情報

製品名: 自然の守
会社名: 株式会社理研グリーン
住所: 東京都台東区東上野四丁目8番1号
担当部門: 開発部企画開発課
電話番号: 03-6802-8587
FAX番号: 03-6802-8303
緊急連絡先: 同上
推奨用途及び使用上の制限: 肥料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2A
皮膚腐食性/刺激性 : 区分2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない

注意喚起語 警告

危険有害性情報

- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激

絵表示



注意書き

【安全対策】

- ・取扱い後は手などを良く洗うこと。
- ・保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- ・皮膚に付着した場合: 多量の石鹼と水で洗うこと。
- ・目に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していた容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- ・目の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- ・汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

3. 組成、成分情報

成分及び含有量:

名称	CAS	含量
水酸化カリウム	1310-58-3	1 - <2 %

水、その他成分	>98%
---------	------

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。気分が悪い場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせない。口の中を水で十分に洗浄する。直ちに医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水と石鹸を使って十分に洗い流す。汚染された衣服は再利用する前に洗濯をするか、廃棄する。直ちに医療処置を受ける。

眼に入った場合：直ちに清潔な流水で十分に洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外す。直ちに医療処置を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤：データなし

有害な燃焼生成物：なし

特有の危険有害性：不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の保護：適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。密閉された場所に立ち入る前に換気する。全ての着火源を取り除く。

環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：危険でなければ漏れを止める。不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

二次災害の防止策：排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：特別に技術的対策は必要としない。

安全取扱い注意事項：ミスト/蒸気を吸入しないこと。換気の良い場所で使用すること。使用しないとき容器は密閉すること。作業環境内のミスト/蒸気の蓄積を防ぐこと。皮膚、眼への接触を避けること。

衛生対策：取扱い時は飲食、喫煙をしない。取扱い後は手をよく洗う。

保管

安全な保管条件：直射日光を避け、冷涼で乾燥した、換気の良い場所に保管する。凍結しないようにする。容器は常に固く密閉する。混触危険物質から離して保存する。保管条件は国及び自治体の関連規則に適切に従う。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 未設定

許容濃度

日本産衛学会(2017年度版) : 2 mg/m² (水酸化カリウム)

ACGIH(2017年度版) : TLV-Ceiling limit 2 mg/m² (水酸化カリウム)

設備対策 : 取扱いについては、局所排気装置を併用する。

呼吸用保護具 : 排気が不十分な場合は、交換可能な蒸気/ミストフィルターを備えた保護マスクを使用する。

眼、顔面の保護具	: 側面遮蔽のある保護眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡、保護面
手の保護具	: 不浸透性手袋
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 暗褐色液体
臭い	: 強い土壌臭
融点・凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: 不燃性
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: 非該当
引火点	: 非該当
自然発火点	: 非該当
分解温度	: データなし
pH	: 10.0 - 11.0
動粘性率	: データなし
溶解度	: 完全に溶解する
n-オクタノール／水分配係数(log値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
比重	: 1.1-1.2 (25°C)

10. 安定性及び反応性

反応性	: 混触危険物質と反応する。
化学的安定性	: 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 極端な温度と直射日光を避ける。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 熱分解により、一酸化炭素、二酸化炭素及び窒素酸化物を含む有害/刺激性の蒸気、煙およびガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: 刺激性。発赤、かゆみ、腫れを生じるおそれ。繰返しのおそれにより皮膚の乾燥、ひび割れ、皮膚炎を引き起こすおそれ。 区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 重篤な眼の刺激。催涙、痛み、かすれ、充血を引き起こすおそれ。区分2A
呼吸器感作性	: 区分に該当しない
皮膚感作性	: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない
発がん性	: 区分に該当しない
生殖毒性	: 区分に該当しない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分に該当しない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分に該当しない
誤えん有害性	: 区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
------	---------

残留性／分解性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物と空容器の廃棄は、関連法規及び地方自治体の規制を遵守し、適切に行う。これらの処理を委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。河川、排水溝および下水へ流入しないよう注意する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	: 非該当
国連分類(国連輸送名)	: 非該当
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	: 非該当

国内規制

海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
陸上規制情報	: 道路法の規定に従う。
その他注意	: 移動時にイエローカードの保持が必要。食品や資料と一緒に輸送してはならない。漏れないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: ラベル表示・SDS交付義務対象物質／水酸化カリウム 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質(令和6年4月1日以降)／水酸化カリウム
労働基準法	: 疾病化学物質／水酸化カリウム
水質汚濁防止法	: 指定物質／水酸化カリウム
海洋汚染防止法	: 有害液体物質(Y類物質)／水酸化カリウム
航空法	: 腐食性物質／水酸化カリウム
船舶安全法	: 腐食性物質／水酸化カリウム

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 原料メーカー提供安全データシート(2017年10月2日)

本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。